

患者の皆様へ

当院では、保有する既存試料・情報を用いて下記の研究を実施しております。このような研究の実施に当たっては、研究対象者の型に研究の参加を拒否するけんりが保障されております。(オプトアウト)
この研究に関するお問い合わせなどありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

記

研究機関名	市立豊中病院
倫理委員会承認日	2020年11月25日
研究期間	2023年3月31日 まで
研究の名称	背景膵に嚢胞を伴う膵癌における経過観察間隔と予後の解析
研究対象	市立豊中病院において、2010年1月から2018年12月に当院で病理学的に膵癌と診断され、膵癌の病理診断から3年前までに撮像された画像検査で5mmを超える膵嚢胞を認める患者さんを対象としています。
対象材料	診療記録
対象期間	2010年 1月 ~ 2018 年 12 月
研究の目的意義	膵癌は未だに予後不良な癌腫ですが、その大部分が診断時に切除不能な病期まで進展していることがひとつの原因です。膵嚢胞及びその大部分を占める膵管内乳頭粘液性腫瘍 (IPMN) は膵癌の危険因子と考えられていて、膵癌早期発見のためにIPMNの経過観察を行うことの重要性が報告されています。ただ、膵嚢胞/IPMNにおいてどの程度の経過観察間隔が適切であるかは明らかではありません。 そこで膵嚢胞の経過観察の間隔と膵癌診断時の臨床病期やその後の治療方針、予後との関係性を検討して、どの程度の経過観察の間隔が最適なのかを検証することを目的としています。
方法	本研究では、上記の期間に市立豊中病院含む共同研究機関の消化器内科において診療・検査がなされた患者さんの中で、膵癌と病理学的に診断されて、膵癌の病理診断から3年前までに撮像された腹部造影CT、あるいは造影/単純MRIで5mmを超える膵嚢胞を認める患者さんの診療録から、経過観察間隔と膵癌診断時病期及び予後の関係性や膵癌診断時病期・予後に影響をあたえる要因を検討します。
個人情報の取り扱い	本研究のデータは、研究目的の達成に必要な範囲を超えて取り扱わず、安全に管理する。研究結果から個人が特定されることはありません。
問い合わせ先	市立豊中病院 消化器内科 松本 健吾 TEL 06-6843-0101